

平成26年度



学校だより 第1号

チャレンジ&ありがとう

高岡市立木津小学校
平成26年4月21日
発行責任者 森田英宏

新しい学年のスタートにあたり

校長 森田 英宏

3月19日、48名の卒業生が立派な姿で巣立っていきました。4月7日、54名のかわいらしい新入生が仲間入りしました。全校児童292名で平成26年度の木津小学校がスタートしました。

まず、6年生が「いつでもどこでも Do My Best」と題して記したものの一部を紹介します。

- 勉強がきちんとできる6年生になりたいです。そのためには宿題をきちんとし、なるべくきれいに書くことです。
- 頼まれたことや自分でやると決めたことは、最後まで責任をもってできる6年生になりたいです。今まで、ちょっと分からなくなったり手が止まると、すぐに誰かに頼んでやめてしまっていて、もうこんなのはイヤだと思ったから。
- 下級生に「カッコイイなあ」といわれ、先生方にも「てきぱき動く6年生だなあ」といわれるようになりたいです。遊ぶ時も真剣、勉強も真剣、運動も真剣、これを心においてがんばっていきたいと思います。
- 気のきく人になりたいです。気のきいたことをするには、人に言われる前にするというのがコツだと自分で思います。

どの文からも、その子の真っ直ぐな心(決意)が伝わってきます。しかも、どの子も、今までの自分をみつめて「こうりたい」という自分を書いていることがとても嬉しく、頼もしく感じられました。

さて、木津小学校には、「きづ」になぞらえて、「木津っ子の3つの約束」というものがあります。あらためて見てみると、とても大事なことを表しています。

- 一つ目「築く子」…基礎を固めて積み上げる、努力して作り上げる、めあてをもって行動する、という意味です。学習でも運動でも、まず、自分の目標をはっきりと持って、できることから一つずつ粘り強く取り組ませたいものです。築くとは、他の誰とも違う自分を創っていくということにつながります。
 - 二つ目「気付ける子」…友達のいいところに気付き認める、いいことを進んで行う、自分の進歩を自覚する、という意味です。他者のいいところが見つめられることは大切なことです。同時に自分のいいところを見つけ、自分の努力を自分自身で認めることは、「自分はできる！自分は頑張れる！」と前向きな考え方ににつながります。周りの大人が、足りないところを注意してばかりいることなく、本人のいいところを認めていくことが重要です。
 - 三つ目「傷つけない子」…人の命、動植物の命を大切にする、物も大切にする、そして、いじめは絶対に許さない、という意味です。他人の痛みが分かる人間であってほしいということです。これには、自分を大切にするという大前提があります。感謝の心や善悪の判断に結びつきます。
- この「3つの約束」を1年間忘れず大切にしていきたいと思います。

始業式で全校に話したことをお伝えします

スタートにあたり、1年を通して全員共通のめあてを2ついいます。

- 一つ目は、挨拶。元気な挨拶ができるようになった人はたくさんいます。でも、進んで挨拶する人は、まだ、少ないようです。まず、お互い同士、礼儀正しい挨拶ができるようになりましょう。
- 二つ目は、姿勢。正しい姿勢を心がけましょう。授業の時はもちろん、食事の時や行事の時も背筋を伸ばしましょう。カッコイイと思います。

常に学校を支えてくださっている保護者の皆様、地域の皆様には、
これからの一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

平成26年度 木津小学校退職・転任教職員紹介

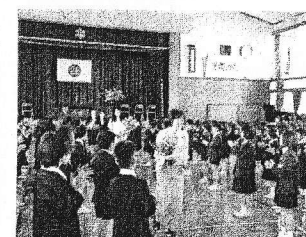
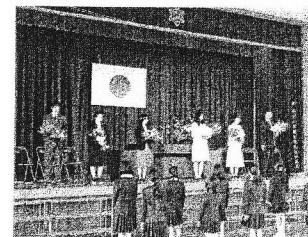
ありがとうございました

退職教職員

教 頭 太知 誠
教 諭 藤井 登志子

転出教職員

教 諭 北野 たか子	高岡市立定塚小学校へ
教 諭 須賀 真知子	高岡市立野村小学校へ
養護教諭 矢野 佳英子	高岡市立平米小学校へ
主計務員 磯部 信幸	高岡市立万葉小学校へ

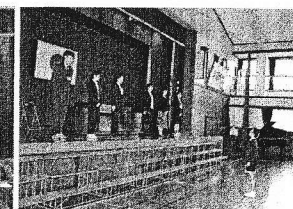
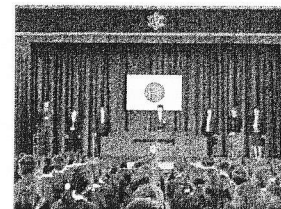


<4/8 離任式>

はじめまして どうぞよろしく

転入教職員

教 頭 笹島 久美子	高岡市立万葉小学校より
教 諭 伊勢田佳英子	高岡市立定塚小学校より
教 諭 和多利 智子	高岡市立戸出西部小学校より
教 諭 岡本 昌子	新規採用
養護教諭 水口 尚美	新規採用
用務員 大野 大輔	高岡市立戸出西部小学校より



<4/4 新任式>